

# 日本ビジネスコミュニケーション学会

# ニュースレター

2009年5月25日  
第1号

産官学協同を目指して

## 日本ビジネスコミュニケーション学会創立総会開催される！

2009年3月14日（土）拓殖大学文京キャンパスで新時代の新しい産官学協同を目指した実践的学会「日本ビジネスコミュニケーション学会」の設立総会が開催され、83名の参加者からの熱い期待の中、新学会が誕生しました。

総会に先立ち、基調講演、シンポジウムが開催され、また総会後には懇親会が行われました。本ニュースレターでは、その模様をお伝えいたします。ご参加いただきました方は、総会式次第を振り返り、また今後、学会への入会をご検討の方は、その一助になれば幸いです。

開会式 14:00～14:05

総合司会：高野由美

開会の辞：北出 亮（発起人代表）

発起人代表の北出 亮から、開会の挨拶と基調講演者の高坂節三氏の経歴紹介が行われた。

### 日本ビジネスコミュニケーション学会 設立のご案内

近年、組織内の交流や意思決定、商取引や交渉、クレーム対応、異文化間のビジネスなど、国内外の多くの職域で「コミュニケーション力」の重要性が増しています。実際、多くの企業は最も重要な採用条件として「コミュニケーション能力」をあげています。

また、昨今の企業の不祥事は、企業倫理と説明責任、社会的責任の問題ですが、これも組織内外をめぐる「コミュニケーション」の問題であるとも言えます。さらに環境問題は全ての人々にとって大きなテーマですが、企業の取り組みは社会的責任であり、消費者や地域社会など多くの利害関係者達とのコミュニケーションが求められます。

このようなコミュニケーションに関する意識の高まりの中で、私たち拓殖大学ビジネスコミュニケーション研究会では、数年にわたり、実際のビジネス現場で起きうる様々な問題をコミュニケーション学の視点から研究を行ってまいりました。しかし、こうした研究を積極的に進めていくためには、コミュニケーションの研究だけでなく、企業で実務を日々担当しているビジネス界の方々の参加が不可欠です。

そこで、他分野の研究者を始め、各種企業、組織において活躍されているビジネスパーソンの方々など広く賛同者を募ることとなりました。互いに啓発し、共によりよいビジネスコミュニケーションのあり方を模索していきたく、この度、学会として新しく立ち上げることになりました。

新しい学会の目的は、ビジネスコミュニケーション学の理論的、実践的研究を行い、その成果を社会に発信し貢献することにあります。また、教育・研究者、企業の実務担当者、行政関係者、社会との連携を目指し、相互交流の場、機会を提供することにあります。

そこから実学的な研究成果が生まれ、実際のビジネスシーンに応用されることが期待されます。このような私たちの志にご賛同いただける方々のご参加を心よりお待ちしております。

日本ビジネスコミュニケーション学会 発起人代表 北出 亮

## 基調講演

14:05～15:00

演 題：日本ビジネスコミュニケーション学会設立に期待して  
講演者：高坂節三氏（元伊藤忠商事常務、栗田工業会長）



長年、企業で国際ビジネス業務に従事され、また大学での教育にも携わったご経験のある高坂先生から、ビジネスは意思の疎通に通じて成功に導くという話を、近江商人を例にお話しいただいた。彼らが成功した理由とは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしの心であり、伊藤忠商事で高坂先生が学ばれたものでもあった。現在ではこの三方よしが企業の社会的責任（CSR）につながっていくのだという。

また、自身の海外経験の話を通し、海外事業とはその国のシステムに合わせ、相手の意見と自分の意見を反映させていかなければならない厳しい世界であるというお話をしていただき、新学会設立に期待する旨のお話があった。

## シンポジウム

15:10～16:10

テーマ：ビジネスコミュニケーションの研究と実践  
— 新たなパラダイムを求めて

司会：小池 保（尚美学園大学情報芸術学部教授、元 NHK アナウンサー、解説委員）

パネリスト：西口博之（平安女学院大学国際観光学部教授）

近藤忠義（MLC 目黒ランゲージセンター講師、元三菱電機株米国現地法人副社長）

比良木高幸（前弘前大学教授、元パイオニアデザイン(株)常務取締役）

江中八郎（元盛岡大学文学部教授、高崎経大・大東文化大講師、社会言語学博士）

大井英章（カウンセリングアカデミー湘南総院長、経営コンサルタント）

コメンテーター：中林眞佐男（千里金欄大学講師、元関西外語大准教授、コダック社西日本統括部長）

シンポジウム参加者は全員、ビジネス実務と教育・研究の両分野の体験があり、以下のような様々な視点、研究分野からの発言があった。



企業では、商活動を通じ、英語はもちろんのこと、他の言語も国際ビジネスの場でコミュニケーションをとる手段として利用していきたい、という期待の言葉が当学会に向けられた。また、多言語化する国際ビジネスの問題点を乗り越えて欲しいという期待も述べられた。これらの事を踏まえ、現在の先の見えない経済状況の中、実際の商活動の場で学者の意見をどう「具現化」していくのか、また「理論」と「実践」をどううまくコラボレートさせていくのか、など時代とともに変わる様々なビジネスコミュニケーションのアプローチの仕方を、日本ビジネスコミュニケーション学会に期待しているという話がなされた。

また、フロアからは新設学会に期待する様々な鋭い質問が数多くあり、緊張感と熱気あふれるシンポジウムとなった。

16:20～17:10

司会：雨宮恒夫



1. 設立趣意説明：北出 亮（発起人代表） 先ずビジネスコミュニケーションについての説明があり、続いて以下のごとく 趣意説明がなされた。

日本では ここ 10 数年で社会環境やビジネス環境は大きく変貌を遂げ、欧米的なビジネススタイルが広がりを持つとともに個人意識も強まり、それに従い、コミュニケーション能力、スーム対応、異文化ビジネス、企業倫理と説明責任、環境問題と的責任など従来になかったビジネスやコミュニケーションの新しい領域の研究が必要になってきた。ビジネスコミュニケーションを系統的に、包括的に研究する学会また、日本の学会は、研究者が中心で現場の実務者には参加の機会が 極めて少なかった。そこで、各種企業、組織において活躍されているパースンとともに互いに啓発し新たに学会として設立することになった。



2. 新学会の内容説明：長尾 素子

今後の予定として以下のことが計画されている旨の説明があった。

・活動：全国大会、支部大会、専門部会、シンポジウム、セミナー・ワークショップ

プ、

第1回全国大会：2009年9月12日（土）～13日（日）を拓殖大学文京キャンパスにて予定。それ以外の活動については、会員の意見と関心分野に応じて企画運営する予定。

・発行物：ニュースレターとジャーナル発行

会員同士あるいは運営委員会と会員とのコミュニケーションを活発にするために

ニュースレターを年に数回、事例発表や研究発表をジャーナルとして発行することを予定

・広報：ホームページ開設

当学会の存在および意義を広く社会に理解してもらうためにホームページを開設し、社会との双方向のコミュニケーションを目指したい。

・組織・会則：設立総会后、準備委員にて検討

・年会費：7,000円

3. 質疑応答

Q. 企業の実務活動をしている人はどのように参加をするのか。

A. 学者と実務者のコラボレーションが目標であり、実務者からは豊富な経験を話してもらうことや問題を指摘するなどし、実践報告をしてもらうことに意味がある

ある

と考える。研究者はそれを研究対象とし理論づけをすることで、実践者に現場で応用してもらい、それをまた学会でケーススタディとして発表してもらいたい。その連鎖がこの学会の特徴と考える。

Q. 専門部会の運営はどのようになされるのか。

A. アンケートの結果を受けて関心のある分野から立ち上げていきたいと考えている。

Q. ビジネスの現場を見る機会を設けてはどうか。

A. そのような活動をぜひ計画していきたい。



#### 4. 提案と承認

発起人代表の北出 亮より当学会の設立提案がなされ参加者の拍手により 承認された。

## 設立総会—続き

### 5. 来賓祝辞

①絹巻康史氏（元拓殖大学教授・研究所所長、国際商取引学会 元会長）

若い学会参加者をたくさん作り、発展性を持つ学会にして欲しい。また学会である以上、飲みにケーションにとどまらず、失敗談から建設的な提案をしていくことなど、新しい学会に対する期待と助言をお話し頂いた。

②川島彪秀氏（日本大学名誉教授）

いくつかの学会の設立経験から、新学会を維持していく以上地道に行うこと、また時代にあったビジネスコミュニケーション領域の拡大やたくさんのシンポジウムを行って欲しいなど、期待と助言をお話し頂いた。



6. 祝電・祝詞 三浦 正氏（北陸学院大学学長）、中川十郎氏（日本ビジネスインテリジェンス協会会長）、陳 汝東氏（世界漢語修辭学会会長）からの祝詞が紹介された。

## 懇親会

18:00~20:00

場所：拓殖大学 D 館 6 階第 1 会議室参加者：63 名

司会：平野宗一郎（拓殖大学 4 年生）

18:00 開会の挨拶：北出 亮 乾杯：川島彪秀氏

19:20 余興 漫才：菅原 裕, 栗原興平（拓殖大学 4 年生） 19:55 挨拶：中林眞佐男 長尾素子

20:00 写真撮影、終了



## 第 1 回年次大会研究発表者募集

日本ビジネスコミュニケーション学会の第1回年次大会を本年9月12日(土)、13日(日)拓殖大学文京校舎で開催いたします。大会テーマは「ビジネスコミュニケーションの課題」です。下記要領で発表者の募集を行います。

1. 発表者氏名
2. 連絡先(住所、e-mail, 携帯電話) 3. 発表条件: 会員
4. 発表形式
  - 1) 国内外の学術文献や情報、アンケート調査、面接調査、統計資料、調査資料等を使用し、ビジネスコミュニケーションに関わる現象や事象の分析、調査研究、検証を行い、研究成果を明らかにする。
  - 2) ビジネスコミュニケーションの諸分野に関する仮説、事例を研究として発表する。  
文献資料や調査資料の使用は任意である。
  - 3) 発表要旨の提出  
いずれの場合も下記の2種類の発表要旨の提出が必要
    - ①プログラム用 和文800字 英文300語以内
    - ②会場配布用 A4版2枚以内
5. 表当日の使用機器 パワーポイント、OHP、映像他、申込み時に申し出て下さい。。
6. 発表時間: 発表20分、質疑応答10分
7. 申込み方法: 第1次エントリー: 申込書請求の締め切り6月10日

研究発表に関しては、事前エントリー制をとります。まず、申込書請求をお願い致します。下記8の申込・問い合わせ先のメールアドレスにお名前、連絡先など明記の上、「大会発表申込書希望」としてお送り下さい。

この時点で入会されている方に限ります。  
申込書を請求されても必ずエントリーをしなければならないわけではありません。  
第2次エントリーの前に定員に達した場合は、第2次エントリーを行いません。

第2次エントリー: 締め切り7月10日  
第1次エントリーで発表定員に余裕がある場合に受け付けます。

8. 申込、問い合わせ先:  
鄭 偉 z\_wei72@hotmail.com

## 学会役員

北出 亮(理事長) 中林眞佐男(副理事長) 長尾素子(理事・事務局長) 坂田善種(理事・副事務局長) 近藤忠義(理事) 小池 保(理事) 雨宮恒夫(理事・副事務局長) 比良木高幸(理事) 江中八郎(理事) 三上雅弘(理事) 鄭 偉(理事) D.A.Prucha(理事) 西口博之(理事) 大井英章(理事) 太田 実(理事) 和田まり子(理事) 市村修一(理事) 高野由美(理事)

注: 最終的な人事案は9月11日の理事会と9月12日の総会で発表します。また事務局以外の理事の担当については別途お知らせ致します。

日本ビジネスコミュニケーション学会アンケート

本日は、設立総会にご参加いただきましてありがとうございます。皆様のご希望、ご意見を学会運営に反映したく、以下の項目にご記入いただきますようお願い申し上げます。  
関心のあるテーマあるいは研究分野に印をつけてください。いくつでも結構です。

業界・分野		活動		コミュニケーション		その他	
	マスコミ・広告		経営・事業・市場・マーケティング戦略		ビジネスコミュニケーション理論		ビジネスマナー
	コンサルタント・シンクタンク・リサーチ		研究・技術開発		組織コミュニケーション		資格・検定
	情報・通信		企画・構想・商品化・イベント実行		対人コミュニケーション		CSR
	商社・卸売		デザイン		コミュニケーション能力・スキル		環境
	金融		広報・宣伝		相手（○で囲んで下さい） ：顧客・取引先・部下・同僚・上司		異文化ビジネス
	メーカー		営業・販売促進		目的（○で囲んで下さい） ：接客・交渉・指導・討議・ 説明・提案・報告・契約・クレーム対応		ビジネス外語（英語教育・日本語教育）・翻訳・通訳
	エネルギー		調査		形態（○で囲んで下さい） ：対話・弁論・電話・メール・手紙・ 報告書・提出案・論文		その他 ( )
	医療・看護		事務		その他 ( )		
	教育		研修・教育				
	旅行・観光		その他 ( )				
	サービス・介護						
	その他 ( )						

上記以外にもございましたら、自由にお書きください。

2. 日頃のビジネスコミュニケーションで苦慮されていること、および今後本学会に期待することを 自由にお書きください。



# 日本ビジネスコミュニケーション学会入会申込書

日本ビジネスコミュニケーション学会に下記のとおり入会申し込みいたします。

申込年月日：20 年 月 日

フリガナ氏名	
ローマ字	(姓) (名)
職 業 (現)	所属機関名：職 名：業務内容：
職 業 (元)	所属機関名：職 名：業務内容：
関心テーマ／専 門分野	
連絡先 (勤務先)	〒 Tel： Fax： E-mail
連絡先 (自宅)	〒 Tel： Fax： E-mail
通信手段 (何れかに○)	連絡・案内： 勤務先 ・ 自宅 ・ その他 ( ) (*通常の連絡および案内は電子メールで行います。) 資料郵送先： 勤務先 ・ 自宅 ・ その他 ( )

\*上記項目にご記入のうえ、事務局メールアドレスに送信していただくか、ご郵送ください。

\*年会費 7,000 円を事務局口座にお振り込みください。

三菱東京 UFJ 銀行 茗荷谷出張所 普通口座 0003175 名義：日本ビジネスコミュニケーション学会 ナガオモトコ

\*会員名簿は非公開とさせていただきます。会員に関するお問い合わせは事務局を通じてお願い致します  
事務局 拓殖大学商学部 長尾素子 〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 電話 03-3947-9234 E-mail: mnagao@ner.takushoku-u.ac.jp

## 日本ビジネスコミュニケーション学会

〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14 拓殖大学商学部 長尾研究室内 広報局

電話 03-3947-9234

Email: [mnagao@ner.takushoku-u.ac.jp](mailto:mnagao@ner.takushoku-u.ac.jp)